

中国記 その七

みやたすむ

毎晩酒盛りをしている、その時に誰かが、日本のあなたは年令は何歳になるのか？ と聞かれた。

私は正直に六八歳になります。今度の二月には六九歳ですよ。とそこに居合わせた人たちは、驚異の目で私を見る。これには私の方がびっくりして、隣に居る甥っ子にさがるように尋ねる。ここ中国では平均年齢が六〇歳のこと。だから、おじさんのような年令の人は珍しいとの事。それにはこちらが驚いて、たたみかけるように甥っ子に聞くと、中国では日本よりも医学が発達していないから。との返事、そう言われてみれば、私より年令の上らしき人はあまり見えない。

でも、あれだけ美味い食事をしているのに、年令を重ねる事ができないようだ。

そう言えば、嫁さんのお父さんは朝からビールを飲む、ここでは火を点けると燃える度数の強いお酒が有るので、そのお酒を飲んでいるとビールは水のようなものらしい。でもここのお父さんは、酔ってバイクを運転をして二回ほど転倒して大怪我をしたらしい。

い。中国でも飲酒運転は禁止されているのだが、日本よりも厳しくないようだ。

お父さんだけを見て中国を判断してはいけなくて、だいたいこの様な食生活だと思っ。この国でも飲みすぎは命を短くするようだ。ア！これは俺の事か

甥っ子が続けて言う 今回中国に来たのは、お父さんが生きていられるうちに、家族全員で写真を撮るのが目的で来たことを教えられた。

翌日白城市の写真館に行くことに、距離的なことはわからないけれども、高速バスで一時間ぐらいたから、静岡駅から浜松駅ぐらいたと思う。

この白城市は、少し都会のような感じがする。デパート、映画館、もあるようだ。

待っている間私は写真館のまわりを下駄で歩いていると、すこしこわおもての人に、リーベン(日本人か?)と声をかけられた。私も中国語で日本人と答えると、もっと何か言いたけだったが、私が中国語を話すことが出来ないのとわかると、背を向けて歩き出した。

すこし怖かった。

いか次号



ゆきんこ春ス★

5月1~5日

「八方尾根」

今年は、いつもの「はくば荘」が3月をもって、閉店となってしまったため、取りあえず下記の宿を予約しました。

「カントリーかしわばろ」

白馬村城 3020-11

TEL: 0261-72-2411

担当: 宮田 (262-3228)

X日: 4/23(土)

よろしくお願ひします!

